



SAP Ariba 

機能の概要

multi-ERP 設定のデータ複製状況

Sean McGann、SAP Ariba
一般提供予定: 2020 年 8 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: multi-ERP 設定のデータ複製状況

導入の難易度
対象エリア

● ハイタッチ
● グローバル

今までの課題

お客様はできるかぎり多くのデータロードを自動化して、システムの整合性と精度を確保することを希望します。現在は、時間と手間のかかる UI からデータを複製して確認する必要があります。オブジェクトの複製が完了するタイミングがわかるようにシステムを設定する機能もないため、自動的に異なるロードが始まる場合があります。

SAP Ariba で問題解決

データ複製状況の API により、お客様は子サイトへのデータの複製状況を把握することができます。複製状況、複製オブジェクト、複製日付、処理中の複製ジョブなどに絞ってフィルタリングすることも可能です。この情報は、子サイトへの自動データロードのスケジュールと設定に役立ちます。

主なメリット

この機能を使用すると、データロードの状況を監視して、確実に完了と複製を行うことができます。API からの回答に基づき、複製が正常に行われたことを示すメッセージを確認すると、その他のジョブの開始を自動化することができます。

対象ソリューション

- SAP Ariba Buying and Invoicing, multi-ERP edition
- SAP Ariba Buying, multi-ERP edition
- SAP Ariba Invoice Management
- SAP Ariba Developer Portal
- SAP Ariba REST API

関連情報

この機能は、該当するソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的に有効になりますが、**お客様が設定する必要があります。**

前提条件と制限事項

- この機能に関連する SAP Ariba API を使用するためにアプリケーションを作成してアクセス権を依頼するには、SAP Ariba Developer Portal にアクセスする必要があります。詳細については、SAP Ariba Developer Portal のヘルプで「API の使用を開始する手順」を参照してください。
- この API に対して行われたクエリはすべて、OAuth 認証によって認証される必要があります。詳細については、SAP Ariba Developer Portal のヘルプで「Developer Portal 認証」を参照してください。

機能の概要

説明: multi-ERP 設定のデータ複製状況

機能の詳細情報(下記のサンプル呼び出しは US データセンターに固有のものです。その他のデータセンターの場合は、Developer Portal を参照して適切なランタイム URL を探してください。)

ワークフロー

1. クライアントアプリケーションは、サイト内のすべての複製状況を要求し、サイトに対応するレルム名を指定します。

- サンプル GET URL: <https://openapi.ariba.com/api/replication/v1/prod/statuses?realm=mytestrealm>

2. クライアントアプリケーションは、特定の複製の状況を要求し、OData 形式でフィルタ基準を指定します。

- サンプル GET URL: [https://openapi.ariba.com/api/replication/v1/prod/statuses?realm=mytestrealm&\\$filter=replicationComplete eq true and replicationStatus eq replicationComplete](https://openapi.ariba.com/api/replication/v1/prod/statuses?realm=mytestrealm&$filter=replicationComplete eq true and replicationStatus eq replicationComplete)

3. 任意: クライアントアプリケーションは、サイト内のサブスクリプション（複製向けに設定されたデータオブジェクト）すべての一覧を要求し、サイトに対応するレルム名を指定します。

- サンプル GET URL: <https://openapi.ariba.com/api/replication/v1/prod/subscriptions>

機能の概要

説明: multi-ERP 設定のデータ複製状況

機能の詳細情報 – エンドポイント

1. **GET/statuses** – レルムの複製状況の出力を提供します。オプションの \$filter を使用して、レポートをドリルダウンします。このエンドポイントの状況コードを以下に記載します。

Status code	Description
INFO	This indicates a normal replication run.
WARN	This indicates non-fatal errors occurred during the replication runtime.
ERROR	This indicates that runtime exceptions occurred during the replication runtime. It is possible to recover from these errors and the replication thread will not go to DEAD state
FATAL	This indicates that runtime exceptions or out-of-date exceptions occurred during the replication runtime. The replication thread retries for a predefined number of times (the default value is 5), after which it goes to the DEAD state.
DEAD	This indicates that the replication thread has been stopped after several fatal errors. No more retries are possible.

2. **GET/subscriptions** – 親サイトから子サイトに複製されるオブジェクトの一覧を提供します。

- 出力として受領する登録例（以下に限られません）:
 - 共通サプライヤ
 - パラメータ
 - 列挙項目
 - パラメータ

機能の概要

説明: multi-ERP 設定のデータ複製状況

機能の詳細情報 – クエリパラメータおよびエンドポイント

クエリパラメータ

1. **realm** – 複製データが抽出されるレルムを特定するために、ほとんどの SAP Ariba APIs で使用されます。
2. **filter** – 次の API をフィルタリングします: **replicationObject**、**replicationComplete**、**replicationStatus**、**subscriptionReplicationDate**、**processing**.

機能の概要

説明: multi-ERP 設定のデータ複製状況

機能の詳細情報 – 状況のサンプル出力

```
2      "realmName": "Canonical Realm: mytestrealm",
3      "totalSubscriptions": 3,
4      "totalReplicationsReported": 3,
5      "replications": [
6        {
7          "displayName": "Permission",
8          "replicationObject": "ariba.user.core.Permission",
9          "replicationStatus": "INFO",
10         "processing": false,
11         "replicationDuration": 0,
12         "subscriptionMode": 0,
13         "replicationIssueDate": "Thu Jan 01 05:30:00 IST 1970",
14         "replicationTimeCreated": "Thu Dec 12 18:06:28 IST 2019",
15         "replItemsProcessed": 0,
16         "replItemsCreated": 0,
17         "replItemsUpdated": 0,
18         "replItemsSkipped": 0,
19         "replItemsFailed": 0,
20         "replItemsWarn": 0,
21         "replItemsErrorStatus": 0,
22         "replItemsFatalCount": 0,
23         "subscriptionReplicationDate": "Mon Nov 11 11:12:51 IST 2019",
24         "subscriptionNextDate": "Sun Aug 17 12:42:55 IST 292278994",
25         "subscriptionStatus": "SUBSCRIBED",
```

機能の概要

説明: multi-ERP 設定のデータ複製状況

機能の詳細情報 – 登録のサンプル出力

```
1  {
2    "realmName": "Canonical Realm: mytestrealm",
3    "count": 6,
4    "value": [
5      {
6        "displayName": "Parameters",
7        "replicationObject": "InheritedParameters"
8      },
9      {
10       "displayName": "CommodityCode",
11       "replicationObject": "ariba.basic.core.CommodityCode"
12     },
13     {
14       "displayName": "PaymentProvider",
15       "replicationObject": "ariba.payment.core.PaymentProvider"
16     },
17     {
18       "displayName": "Common Supplier",
19       "replicationObject": "ariba.common.core.CommonSupplier"
20     },
21     {
22       "displayName": "Expense Policy Type",
23       "replicationObject": "ariba.expense.core.ExpensePolicyType"
24     },
25   ]
26 }
```

機能の概要

説明: multi-ERP 設定のデータ複製状況

考えられる使用事例

- 子レルムへのデータロードを計画する際にデータ複製状況が役立つことがわかります。親から子への複製が正常に完了したことがわかれば、子レルムに必要なデータを直接ロードすることができます。
- これらのロードを自動化する場合、/statuses エンドポイントへの回答に応じて、異なる処理を行うようにシステムを設定することができます。これにより、データがロードされ、人間の介在なしにできるかぎり早く使用できるよう準備されます。

機能の概要

説明: multi-ERP 設定のデータ複製状況

SAP Ariba 拡張性コミュニティ

- API に関する質問がある場合は、下記のリンクから、お客様、パートナー、SAP Ariba のフォーラムを参照してください。以下の内容をご利用いただけます。
 - 考えられる使用事例に関する意見交換
 - アイデアの共有
 - 疑問点に関する質問と回答
 - SAP Ariba APIs（およびその他の拡張機能）に関するドキュメントの照会
 - SAP Ariba の拡張性（API）に関するビデオおよびポッドキャストの視聴
 - SAP Ariba パートナーとなるための詳細情報を調査
 - パートナーが現在提供している拡張アプリケーションのタイプに関する詳細情報を調査
- <https://community.sap.com/topics/ariba-extensibility>